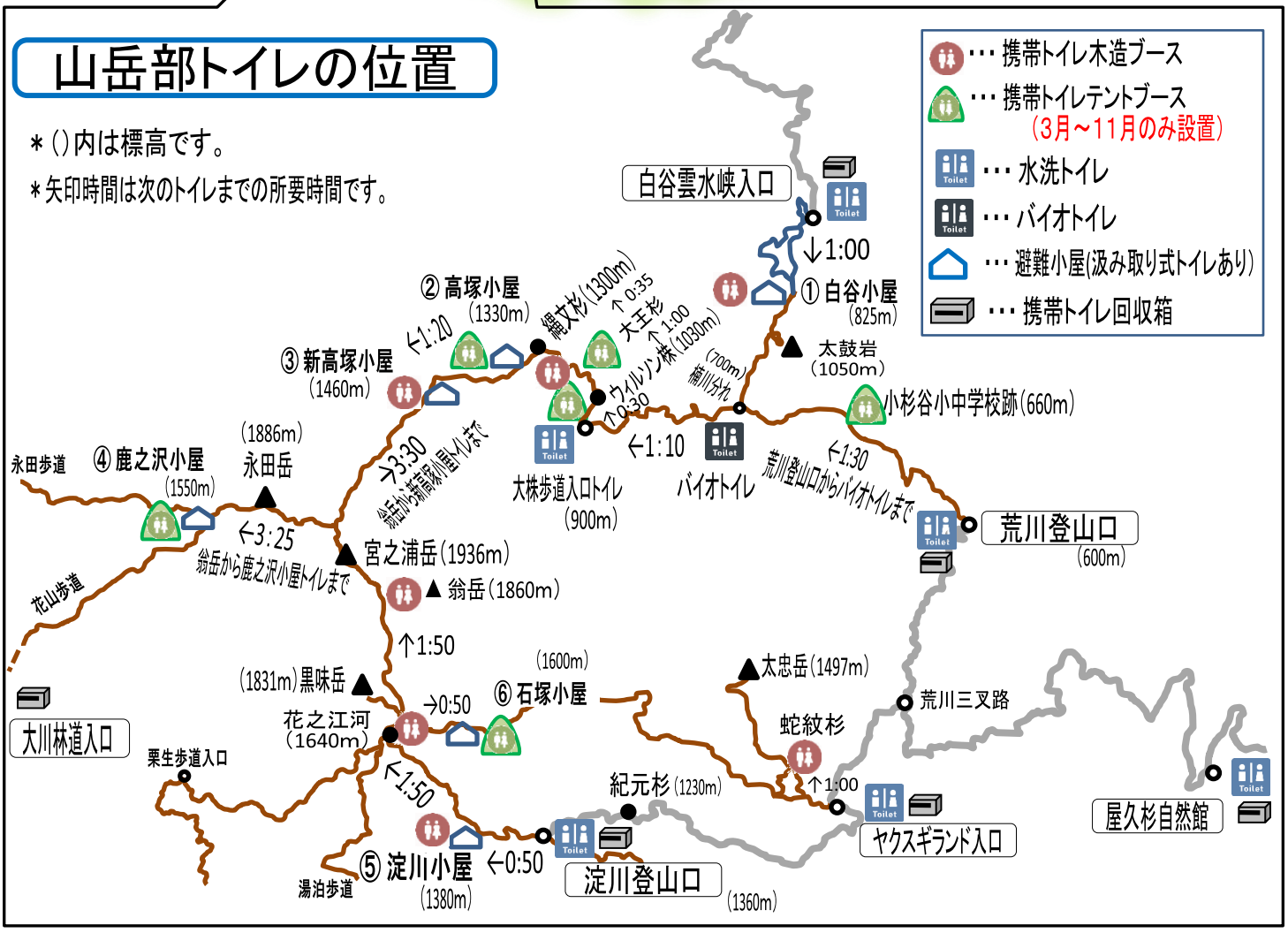
山岳部トイレの位置

山岳部トイレの位置

＊（）内は標高です。

＊矢印時間は次のトイレまでの所要時間です。



山小屋（避難小屋） 一覧					
名称	標高	収容人数	建築年	構造	備　考
①白谷小屋	825m	40人	1979年	鉄筋コンクリート	＊山岳部にある6つの山小屋は無人の避難小屋です。山中泊に必要な装備は各自ご準備ください。 ＊予約性ではありませんので、混雑時には譲り合って利用しましょう。 ＊収容人数超過の場合は小屋周辺のテント泊指定場所をご利用ください。
②高塚小屋	1,330m	20人弱	2013年	鉄骨	
③新高塚小屋	1,460m	40人	1992年	木造	
④鹿之沢小屋	1,550m	20人	1965年	石造	
⑤淀川小屋	1,380m	40人	1988年	木造	
⑥石塚小屋	1,600m	20人	1971年	ブロック造	

① 白谷小屋

白谷雲水峡園内標高825メートルのところにある鉄筋コンクリート造りの避難小屋です。

収容人数は約40人。トイレは小屋の中に女性用2基、男性用小便器1基、大便器1基、小屋の側に携帯トイレブース1基があります。水場は小屋のそばにあります。

＊**白谷雲水峡では環境負荷軽減のため携帯トイレの利用を推奨しています。（携帯トイレ回収ボックスは管理棟前にある東屋横に設置されています。）**白谷小屋の既存トイレを利用される場合は、使用済みトイレットペーパーの分別廃棄にご協力ください。

② 高塚小屋

高塚小屋は2013年にリフォームされた3階建ての避難小屋です。収容人数は約20人。標高約1,330メートルの縄文杉から約8分のところにあります。トイレは小屋の近くに汲み取り式1基、携帯トイレテントブース1基（3月～11月のみ設置）があります。水場は縄文杉の近くになります（小屋周辺にはありません）。

＊縄文杉近くにあり、繁忙期には小屋の収容人数（20人）が超過することも有ります。簡易テントを持参されることをお勧めいたします。小屋周辺は風が強い場合がありますので、ご注意ください。

③ 新高塚小屋

標高1,460メートルにある木造の避難小屋です。高塚小屋から1.7キロ、徒歩約80分のところにあり、1992年に再建されました。内部は上下2段構造で、収容人数は約40人。トイレは小屋の近くに簡易水洗2基(TSS)、携帯トイレ木造ブース1基、汲み取り式1基がありますが、冬季は簡易水洗トイレが利用できません。1つ、水場は小屋の近くにありますが、渇水時には水場が利用できない場合もありますのでご注意ください。

④ 鹿之沢小屋

永田岳から1.2キロ、約45分のところ、花山歩道と永田歩道の合流点にある避難小屋です。石造りで、収容人数は約20人。トイレは小屋から50メートルほど離れたところに汲み取り式1基、小屋の横に携帯トイレテントブース1基（3月～11月のみ設置）があります。水場はトイレと小屋の中間地点にあります。周辺が湿原地なので、テントを張る場所は限られています。

⑤ 淀川小屋

安房川の支流である荒川の上流、標高1,380メートルにあります。淀川登山口から1.5キロ、歩いて約40分のところにある木造避難小屋です。収容人数は約40人で、宿泊スペースは上下2段に分かれています。小屋が満員のときは、前の広場を野営地として利用できます。トイレは小屋の近くに汲み取り式1基、携帯トイレ木造ブース2基があります。水は小屋の横を流れる支流を利用できます。
この美しく澄んだ川は、周辺の森の豊かな緑とともに幻想的な雰囲気を作り出しています。

⑥ 石塚小屋

ブロック造りの石塚小屋は、花之江河から1.2キロ、標高1,600メートルのところにある避難小屋です。収容人数は20名。トイレは小屋の裏側に汲み取り式1基、玄関側に携帯トイレテントブース1基（3月～11月のみ設置）があります。水場は花之江河方面に5分ほどのところにあります。